

広報

おかがき

平成17年
3月10日
No.689

第7回

春まつり

3月20日(日)～4月10日(日)

成田山不動寺境内と参道にちようちんを設置。夜桜を満喫できます。

イベント

とき 4月2日(土)10:00～15:00

※雨天時4月3日(日)

ところ 九州成田山不動寺境内地 ほか

- 地元飲食店などの割引券や岡垣産の農産物などが当たる抽選会(抽選券先着順)
- ステージイベント(町内の団体など)
- もちまき など
- 馬頭観音座像特別御開帳：海蔵寺
- 抹茶の接待：ふれあい公園(海蔵寺裏)

【無料シャトルバス】

イベント当日は海老津駅と会場をシャトルバスが結びます。

運行時間	海老津駅	30分	会場
	始発 9:00	→	始発 9:30
	最終 15:00	←	最終 15:30

問い合わせ 春まつり実行委員会(地域づくり課)

※当日は地域づくり課携帯090-7157-0462へ

遠賀郡中間市合同企画

情熱を注ぐ

思いは人によってそれぞれ違う。い
つしか思いが強くなり、それは、情熱
へと変わってゆく。こだわりは、情熱
から生まれるのだ。

浜辺の達人



そえだせいし
添田征止さん
(66歳)岡垣町

海は博物館ですよ

そう語るのは、添田征止さん(吉木区)。漂着陶磁器コレクターである。添田さんは、三里松原射撃場開放時(昭和53年)に海岸を散歩し、半分砂に埋まっていた小鉢を発見。「どこで、いつ作られたのか。どうしてこの地に」と疑問を抱き、それ以来漂着物の魅力に引かれ、愛犬といっしょに毎朝浜辺を歩き、現在も収集を楽しんでいる。





▲毎朝、矢矧川～汐入川間の浜辺を散策している添田さん

中には、破損することなく、ほぼ原形をとどめたまままで漂着するもの

漂着物なのに

自宅の中には、漂着陶磁器専用の部屋があり、文様別・形状別に分けられた箱には破片が詰まっていた。「製造場所、年代、土の質、当時の習慣などを調べるんです。そこが漂着陶磁器の魅力だと思います。だから小さな破片でもおろそかにできない」と添田さん。

収集始めて26年 かけらから学ぶ

漂着陶磁器の大半が破片。添田さんの自宅の庭は、数え切れないほどの無数の破片で埋め尽くされている。

▼この写真に写っている陶磁器はすべて漂着物



「珍しいものは拾いますね。千年くらい前のクジラの頭・背骨や深海魚、縄文時代の石器なども拾いました。ある日、浜に行くとカブトガニ（天然記念物）がひっくり返っていた

陶磁器だけじゃない。 爆弾、入れ歯…



▲中国の景德鎮産と思われる逸品

もある。形や模様が同じものや、重ねると1セットになるものまでである。「きれいでしよう。きれいすぎるから、漂着物と言うと信じてくれない人もいるんです(笑)。貴重なものもたくさんあるので、研究者などがよく尋ねてきます。また5月末からは、伊万里市にある『海のシルクロード館』※に、コレクションを出展する予定です」

「元に戻してやると、海に帰っていきました。死んでいると思っていたので驚きましたよ。それから、旧日本軍の爆弾を発見した時はさすがに通報しましたね。本当に海は博物館ですよ。教材は山ほどあります」
将来は資料館を建設して、コレクションを展示したいそうだ。



▲漂着陶磁器を利用してアクセサリーを作成している



▶約千年前のクジラの骨

浜辺の達人「漂着陶磁器」ホームページ
<http://www.geocities.jp/ssicd07132/>



未来のための 有機農業

人を、そして環境を守る農法

筋田さんと有機農業の出会い、減農薬運動の記事がある雑誌で読んだことがきっかけだ



▲毎年約300羽の合鴨を育てている

た。そのうち、農薬や化学肥料、過剰な有機肥料が計り知れない環境汚染を引き起こしている現実を知った。思案の末、農薬と化学肥料をやめ、あえて時間と手間のかかる有機農業に取り組み決意をした。15年前のことだった。

挑戦

一口に有機農業といっても方法はさまざま。筋田さんは合鴨を田んぼに入れて稲穂を育てる合鴨農法を取り入れた。合鴨は雑草や害虫から稲穂を守ってくれる。彼らが泳ぐことで酸素が土に混ざり、稲は根から酸素をたくさん吸収する。さらに合鴨のフンは肥料になり、稲がよく育つ。「しかし、いいことばかりじゃないですよ」と筋田さん。それは同時に、たいへんな労力

人は自然に 生かされています



すし た やすゆき
筋田 靖之さん
(51歳)遠賀町

を伴うものでもあった。

格闘

合鴨農法は、春先に合鴨の卵をかえし、ヒナを育てることから始まる。また、合鴨を田んぼに入れるタイミングは非常に難しい。時期が早いと、若い稲穂は蹴散らされてしまうのだ。田んぼに入れたあとは、

カラス、イノシシなどの外敵から守らなければならない。そのため、田んぼの周りに網や電気柵を取り付ける。「この作業はかなりつらいですね。でも急いで付けなきゃいけない。数年前、網はりが追いつかず、50羽近くがカラスの被害に遭ったんですよ」と筋田さんは悔しがらる。

合鴨は稲穂が大好き。稲穂を食べられる前に田んぼから引き上げる。田んぼの外に追い出すのも一苦勞。エサをまき、ワナをしかけておびき出す。

悪戦苦闘の末、実った稲穂は一切農薬を使用しない『合鴨米』として収穫を待つ。

合鴨たちが教えてくれたこと

収穫に合わせ、合鴨との別れがやってくる。彼らの大半は食用として加工されてしまうのだ。「人間はこれまで、自然に生かされてきました。それはこれからも変わることはありません。私たちは、安全な自然環境を子どもたちの未来のために残さなければなりません」

現在、筋田さんは合鴨農法以外にも無農薬での農法を研究中である。





青空の中の

芸術品

世界が認めたその腕前

「そりゃあ、やっぱりうれしかった。やっと世界に認められたと思ったよ。これでやっと一人前だつてね」

平成13年5月3日、石川県で開催された「第4回世界ミニ凧コンテスト」。過去3回はアメリカで開催され、当時初めて日本で行われたそのコンテストの「最も美しい凧部門」で見事第一位に輝いた江藤秀東さんの「籐囃凧」。その凧はわずか縦横10センチ程度の大きさですが、揚がる角度などの厳しい審査を通過しての受賞でした。

とことん追求。最良の素材

凧をはじめて作ったのは21年前の公民館講座の親子凧づくり教室。「そのときはね、全然揚がらなくてその辺をぐるぐる回っていた。親の面目丸つぶれで悔しかったよ」

悔しさから、江藤さんのこだわりの凧づくりが始まりました。独学で凧づくりを研究し、試行錯誤の繰り返し。はじめてうまく揚がったときは、「自分で作った凧が揚がったんだ。もう何もかも忘れて本当にスカッとしたね」

そのときから江藤さんのこだわりはどんどん加速していきます。10数年前からは四角の凧だけでなく、唐人凧などさまざまな形をした凧



江藤 秀東さん
(62歳)水巻町

きちんと飛ばないと凧じゃやらない

を作り始めました。

日ごろは建設関係の仕事をしている江藤さん。時間があるときは作業場となっている事務所まで凧づくりに励んでいます。その事務所の片隅にひっそりと立てかけられているのは数年前に熊本まで行って取ってきた竹。材料にもこだわった和紙と竹を使った昔ながらの凧づくりは、その竹を正確に削ることから始まります。「使う竹も数年間乾燥させているものじゃないと駄目。作った後に反つたらうまく揚がらんからね。」と江藤さん。ひとつの凧を作るのに最低でも2週間くらいはかかるそうです。

広がる凧仲間。その一方で…

「凧のおかげで、北海道から石垣島まで全国

に友達ができた。1年で10か所くらい大会で回ってね、そのときは、みんな地酒や地元の特産品を持ち寄って集まるんだよ。同窓会みたいなもんだよ」全国に広がっている凧仲間のつながり。しかし、どこでも共通の悩みがあるといいます。「どこも悩んでいるのが後継者不足。玄界凧の会も15人ぐらいのメンバーの中で凧を作れるのは俺を入れて4人ぐらい。みんな年をとっていて、このままでは日本の伝統文化が失われていく。寂しいことやね」と残念そうに話す江藤さん。

「遠賀川の河川敷に手作りの凧がいっぱい揚がるようになったらいいな。そのためにも今、俺たちががんばって、この文化を次の世代につなげていかないと話す江藤さんの目は、しっかりと将来を見据えています」。



そろばんを とおして

青少年教育

ご破算わさんで願いましたは〜

玉をパチパチはじく音が小気味よいそろばん。電卓が普及している現代ですが、数学力だけでなく集中力や考える力を高めることができるそろばんは、今も多くの人々に愛されています。古賀さんは、長年にわたって地域で青少年に珠算を指導し、一方で四百点以上にのぼる膨大な数のそろばんコレクターとしても知られています。

そろばん教育は人間教育

昭和26年、九州計理高等学校を卒業後、仕事をしながら、水巻町のみどり珠算会で小・中学生の指導をボランティアで始めます。

「当時はまだ戦後の混乱期が続いていて、子どもたちが仕事に就くことができるように技術を身に付けさせるとともに、青少年教育を行いたかった」と語ります。

水巻町や中間市を中心に各地で珠算指導を行うにつれ、多忙をきわめ、仕事は昭和29年にやめることに。

「そろばん教育は人間教育」がモットーの古賀

さん。高校や大学での指導をはじめ、全日本学生珠算連盟の副会長などを歴任し、国内でのそろばん教育普及に尽力します。

コレクションは四百点以上

「技術としてのそろばん教室が各地で盛んになり、改めて『人間性』を見つめ直そうと思つたのです。そのためにも、そろばんの歴史や、各時代のそろばんを見て触って、勉強し直そうとしたのがきっかけですね。昭和30年ごろのことでしょうか」

古賀さんは江戸時代のそろばんを中心に、関連資料、古民具なども収集しています。

そのコレクションは日本でも十指に入るほど

教え子の成長
を見るのはうれしい



こが しげみち
古賀 茂道さん
(76歳)中間市

のものになり、展示会などに貸し出すこともあります。

現在も地域の公民館で子どもたちにそろばんを教えている古賀さんは、メリットや結果だけを求めすぎる教育には疑問を感じるそうです。

「子どもたちが成長するためには、過程を大事にし、季節や風習、歴史に触れることも大切です。それでこそ人間性や根気、我慢強さ、生きる活力が培えると考えています。教え子の成長を見るのはうれしいですね」。

そこには、信念をもって子どもたちを教える姿があります。



まちの駅、誰でも

立ち寄れる

心のオアシスに

人が人を呼ぶ。

芦屋町で陶器店を経営している横田さんは、まちづくりに熱意を傾けています。

「まず、芦屋町に活気を取り戻したい。この気持ちが一番ですね。まちの活気とは店や商店街のにぎわいだと思っています。でも、今の商店街の様子は寂しい限りですよ。まちの駅を設置する直接のきっかけは、手づくりフェアinあしやですね。4年前から毎年開催して、町内外から多くの人が訪れ、商店街がにぎわいます。その様子を見て、なぜ、多くの人が来てくれたのか？理由を考えました。私なりに出した結論は、手づくりフェアには、人と人とのつながりがあったから。多くの人の知り合いがフェアに参加している。いきつけの店が参加している。友人を誘って、ちよつとのぞいてみようという気持ちを持ったからだ。人と人とのつながりがあれば、人は集まる。商店街に活気を取り戻せる。そう考えていたとき、まちの駅というものを知り、やってみようと思いました」

屈託のない笑顔から、横田さんの温かい人柄が伝わってきて、まるで旧知の友人と話しているような気持ちになりました。居心地のよい場所、まちの駅。



よこ た きょうじ
横田 恭二さん
(51歳) 芦屋町

まちに活気を、 ふれあいを

活用方法はさまざま

「人と人が出会い、交わる場所にしたいですね。道を聞いたり、店内で一息休憩したりするなど、昔は当たり前だった人と人とのふれあいを、まちの駅で再現したい。誰もがいつでも立ち寄れる心のオアシス、居場所の一つになればいいと思っています。そうやって、まちの駅が多くの人に利用されるようになれば、少しずつでも人と人とのつながりができていきます。そして、まちに活気を取り戻せるんじゃないかと考えます」

「買い物や散歩の途中、トイレに行きたくなっても、公衆トイレはそんなにあちこちにはあり

ません。歩いている人、特に高齢者にはつらいですよ。そんなとき、まちの駅が気軽に立ち寄れる休憩場所となります。芦屋町を「高齢者にやさしいまち」にしたいと言っても言っておきましようか(笑)。
現在、芦屋町にはまちの駅が18か所あり、目印として黄色いのぼり旗を立てています。まちの駅マップも作成しているので、まちの駅巡りをして楽しいかもしれませんね。
駅長たちのこだわりの話も聞けます。ぜひ一度、まちの駅に遊びに来てください。

問い合わせ

芦屋町観光協会 ☎221-1001へ

「まちの駅」東京都のNPO法人「地域交流センター」が提唱し、約10年前から設置が始まり、現在は全国に約四百か所(福岡県内約50か所)ある。○道案内できる人が常駐○地域情報を提供○無料で休憩できる などが特長。

◀道案内をする横田さん



十勇士たちの夢の里「真田町」へ行こう！ ふれあい in SANADA

岡垣町と長野県真田町が交流をはじめて14年目になります。

ホームステイをして、真田町の人たちとのふれあいや、岡垣町とは異なる自然・歴史・文化など、素晴らしい体験をしませんか？

とき 7月28日(木)から8月2日(火)5泊6日

ところ 長野県小県郡真田町

事前・事後研修 5月から9月に9回程度

募集人数 24人

対象

事前・事後研修に参加でき、4月で小学5・6年生になる児童20人、中学1・2年生になる生徒4人

※申込多数の場合は、4月に審査(作文・面接)で決定

参加費 3万円

申し込み 3月29日(火)までに社会教育課に申込書を提出

問い合わせ 社会教育課へ



おしらせ

老人憩の家若潮荘が
新しく生まれ変わります

宿泊施設の増築工事で休館していた若潮荘が、平成17年4月1日に開館します。入湯・会合・休養は通常通り利用できます。

宿泊施設は「広報おかがき」4月10日号で紹介する予定です。
問い合わせ 健康福祉課へ

使わなくなっても
捨てないで！

平成16年10月1日から、メーカーが二輪車リサイクルの自主取組を始めています。

4月1日から、原動機付き自転車(50cc以下)は、ごみとして収集できなくなります。

問い合わせ 二輪車リサイクルコールセンター☎03-3598-8075または自動車リサイクル促進センターホームページへ

若松県税事務所が閉庁します

4月1日から、若松県税事務所は、北九州西県税事務所(現在の八幡県税事務所)に統合されます。

主な業務

・法人県民税、法人事業税の申告
・不動産取得税、自動車税の軽

重度の障害がある人に タクシー利用券を交付

タクシー初乗り運賃を補助します。

対象

在宅で、平成16年度の町民税が非課税か、均等割りだけ課税され、次のいずれかを持っている人

○身体障害者手帳のJ R運賃減額欄が「第一種」

○療育手帳の判定が「A」
○特定疾患医療受給者証
○精神障害者保健福祉手帳1級・2級

交付開始日 4月1日(金)

受付場所 東部公民館(4月1・4日だけ)、健康福祉課

問い合わせ 健康福祉課へ

減(減免)手続き

・県税の納税証明書発行

問い合わせ 若松県税事務所☎761-4023、4月1日から
は北九州西県税事務所☎662-9310へ

固定資産税の縦覧

課税されている土地・家屋の価格を見ることが出来ます。

とき 4月1日(金)から5月31日(火)

ところ 税務課

対象 岡垣町の固定資産税納税者※納税者と確認できるもの(免許証など)と印かんを持参
問い合わせ 税務課へ

犯罪防止の目標を決定

折尾警察署協議会は、住民を

代表する15人の委員で構成され、警察の事務内容に住民の意見を反映させるため、警察署長に意見を述べる機関です。

1月31日(月)に協議会を開催し、平成17年の折尾警察署の重点目標を決定しました。

【重点目標】

○街頭犯罪等抑止総合対策の推進
○暴力団等組織犯罪対策の推進
○重要凶悪事件の予防・検挙
○少年非行防止・保護総合対策の推進
○交通事故抑止総合対策の推進
○重大テロ対策の推進
問い合わせ 折尾警察署☎691-0110へ

障害者の自動車運転免許取得を助成します

運転免許取得講習費の一部を助成します。

対象 手帳を持っている身体

駅前ぎゃらり一年賀状展 人気投票の結果

1月16日から2週間、みなさんから寄せられた204点の作品を飾りました。個性あふれる楽しい作品ばかりでした。

【人気投票】 ※上位36人・敬称略

- 1位 川島ツユ子(No.62)
- 2位 河村芙美子(No.96)
- 3位 樋高 馨・大脇静香(No.53)・長岡えり子(No.142)
- 5位 田中教子(No.55)・阿部宏道(No.165)
- 7位 野中陽子(No.31)・本山 楓(No.193)
- 9位 井上洋子(No.179)
- 10位 若潮学級陶芸コース(No.52)
- 11位 渡辺祐佳里(No.36)
- 12位 松本剛(No.68)・有吉友樹(No.201)
- 14位 岩見勇夫(No.11)・松本剛(No.78)・小山田治子(No.91)・竹下國雄(No.92)・山崎節子(No.158)
- 19位 林 洋子(No.3)・佐々木偉陽(No.66)・佐々木昇司(No.123)・青木善次郎(No.147)・岡垣記念病院ほほえみ(No.155)・宮川社夫(No.171)・香月萌望(No.199)
- 26位 野間聡子(No.21)・清原満子(No.34)・北園福利(No.45・No.48)・澤江鈴江(No.80)・田中正親(No.90)・緒方英憲(No.93)・中村弘(No.115)・千々と正毅(No.124)・大槻将司(No.159)・青木重孝(No.190)・若林杏佳(No.198)

【抽選】 ※当選者20人・敬称略

岸篤志・中壽賀勇・有吉みき・佐々木敏幸・二階美智子・増田順子・岩永勝範・高木三恵子・青木初美・吉永千鶴子・保坂ヒサエ・榎谷 登・小山美和子・橋山正明・太田久子・右田浩一・長岡史明・脇山敬子・原美代子・木原徳則

たくさんの作品応募や投票、ありがとうございました。上記のみなさんには、岡垣郵便局と岡垣町教育委員会から記念品を贈ります。

「心がこもっている」「色づかいがやさしくてほのほのする」「家族的でいい」という声が届きました。

※作品(年賀状)の返却を希望する人は3月31日(木)までに中央公民館へ

口座振替利用者は 注意してください

対象 次のものを口座振替で納付している人

- 町税(町県民税・固定資産税・国民健康保険税・軽自動車税)
- 上下水道使用料、下水道受益者負担金・分担金(公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水)
- 町営住宅の家賃・駐車場使用料

通常、口座振替ができなかったときは、翌月の振替日に引落ししていますが、年度が替わると前年度分は引落しできなくなるので、納入通知書を金融機関の窓口にて持参して納付することになります。

問い合わせ 各担当課へ

募 集

障害者(視覚障害を除く、原則として4級以上)、知的障害者判定を受けた人も可※申込多数の場合には選考。入校は5月中旬以降締め切り 4月22日(金)
 申し込み 手帳か判定書を持って健康福祉課へ
 問い合わせ 福岡県障害者福祉課 ☎092164313263へ

青年国際交流事業参加者

世界各国の青年と友好を深め、国際的な視野と協調性を身に付けましょう。
 【航空機による青年海外派遣】
 とき 9月
 訪問先・募集人数 チリ・ドミニカ共和国・ハンガリー・ヨル

ダン・ミャンマー各12人(18〜30歳)、中国・韓国各27人
 費用 約八万円
 【世界青年の船】
 とき 平成18年1月から3月
 訪問先 インド・ケニア・モリシヤス

募集人数 約百二十人(18〜30歳)
 費用 約二十万円
 【東南アジア青年の船】
 とき 10月から12月
 訪問先 ブルネイ・マレーシア・フィリピン・タイ・ベトナム

約40人(18〜30歳)
 費用 約二十万円
 ※上京・帰郷旅費、旅行保険料などは別途負担。事前・事後研修あり
 募集期間 社会教育課にある申込書を4月1日(金)までに県生活労働部へ

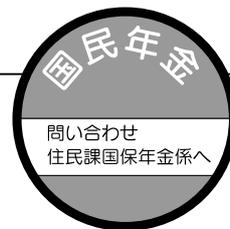
スポーツ・文化

硬式テニス教室

とき
 ○前期 4月23日から7月中旬
 ○後期 7月中旬から10月8日
 とともに毎週土曜日午後6時から8時、10回
 ところ 町民テニスコート
 対象 高校生以上
 費用 各六千円
 定員 各16人※先着順
 申し込み・問い合わせ 硬式テニス連盟(佐藤) ☎28216152へ

申し込み・問い合わせ 県生活労働部青少年課 ☎092164313387へ





こんなにお得！

国民年金保険料の「前納」・「早割」制度

毎月、納付書で納めるより口座振替(1年前納・6か月前納・当月振替「早割」)にすると割引になります。「早割」制度は、4月1日から開始される新しい制度です。

【平成17年度保険料1か月13,580円】

《1年前納・・・4月末に1年分をまとめて口座振替》

毎月納付書で納めた場合 162,960円	-	口座振替で1年前納 159,540円	=	3,420円	お得
-------------------------	---	-----------------------	---	--------	----

《6か月前納・・・4月末と10月末に6か月分をまとめて口座振替》

毎月納付書で納めた場合 162,960円	-	口座振替で6か月前納 80,550円×2回	=	1,860円	お得
-------------------------	---	--------------------------	---	--------	----

《当月振替「早割」・・・保険料を当月に口座振替 例：4月分保険料を4月末に振替》

毎月納付書で納めた場合 162,960円	-	口座振替で当月早割 13,540円×12回	=	480円	お得
-------------------------	---	--------------------------	---	------	----

※口座振替の翌月振替(例：4月分保険料を5月末に振替)は割引がありません

申し込み 年金手帳または保険料納付書・預金通帳・通帳印を、社会保険事務所、金融機関に持参
問い合わせ 八幡社会保険事務所 ☎631-7961へ



小さな火

山に捨てる

大きな火

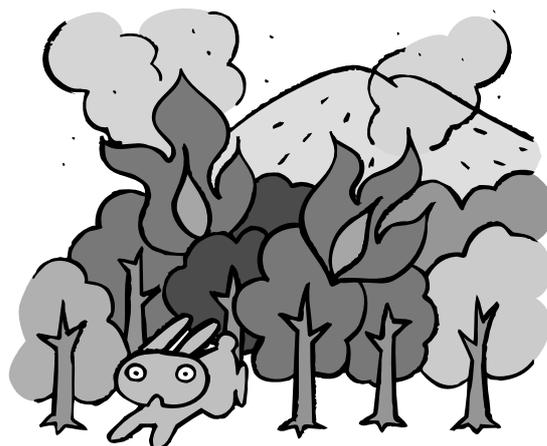
春先は乾燥した晴天の日が多く、毎年たき火や火入れの拡大、たばこの不始末などで林野火災が多く発生します。

林野火災は、消火用の水の確保や地理的条件など、消防活動が非常に困難なため、ひとたび発生すると、広範囲に及ぶ危険性があります。

山林に入ったら、不用意に火を使わないように心がけましょう。

※「野焼き」と呼ばれる野外焼却は法律で禁止されています

問い合わせ 遠賀郡消防本部 ☎293-1234へ





いちご畑のコンサート

とき 3月18日(金)午後6時30分から7時

ところ エントランスホール

出演者 田中百合子(シャンソン)

曲目 スカーフ・恋心ほか

※入場無料

サンリリーアイ

カルチャーフェスタ

〔日本伝統工芸能面「麻生能忍展」〕

とき ○一次展4月1日(金)から3日(日)○二次展5月13日(金)から15日(日)午前11時から午後6時

※5月14日は午後10時まで

ところ ギャラリー・展示コーナー

※入場無料

問い合わせ 麻生☎282-3905

「春の小さなバレエコンサート2005」

とき 4月3日(日)午後1時30分

ところ ハミングホール(自由席)

問い合わせ 加藤由紀子バレエ教室☎094-042-5315

※入場無料。要整理券

岡垣ふれあい文化塾

「さんりん舎」会員募集

さんりん舎は、岡垣サンリリーアイとともに活動するボランティア団体です。この言葉には、ボランティア、サンリリーアイ、住民の3つの輪が一体となって

文化活動を推進していこうという願いが込められています。主な活動

○地域住民創造参加型のイベント企画・運営・制作

○岡垣町を中心とした史実、民話を掘り起こし、その中から創作した新しい民話作品化

○家族のふれあいの場、こどもたちの心を育む場づくり

申し込み・問い合わせ 岡垣サンリリーアイへ

スポーツ結果

がんばった人にマル!

第26回少年少女駅伝大会

とき 1月23日

ところ 遠賀町総合運動公園

優勝 海老津ニュースターズA

準優勝 野間レンジャーズA

第3位 吉木ジャイアンツA

第53回遠賀郡各町対抗駅伝大会

とき 1月30日

ところ 遠賀町総合運動公園

《小学生男子の部》

優勝 海老津ニュースターズA

準優勝 吉木ジャイアンツA

第3位 海老津ニュースターズB

《小学生女子の部》

第3位 満石ジュニアA

《中学生男子の部》

優勝 岡垣中学校A

《中学生女子の部》

準優勝 岡垣中学校A

第3位 岡垣中学校C

《小学生男子の部・区間賞》

一区 松本 拓

二区 松本 真

三区 立石 涼二

四区 高宮 伸作

五区 石田 光輝

《中学生男子の部・区間賞》

三区 三川 玄希

四区 佐藤 崇彦

五区 坂田 卓也

《中学生女子の部・区間賞》

一区 梅田 愛文

五区 徳満 静香

遠賀郡弓道連盟初射会

とき 1月23日

ところ 芦屋町弓道場

《有段男子の部》

優勝 麻生 圭介

準優勝 山本 昌広

《有段女子の部》

優勝 檀 美代子

《無段の部》

優勝 近藤 忠助

グラウンドゴルフ1月度例会

とき 1月28日

ところ 町民総合グラウンド

《男子の部》

優勝 松崎 吉次

準優勝 中谷 孝

第3位 浜中 邦夫

《女子の部》

優勝 白石久美子

準優勝 柳瀬 峯子

第3位 鈴木 美代

インディアアカ教育長杯

とき 2月6日

ところ 町民体育館

優勝 瀬戸口チーム(瀬戸口・中嶋・西嶋・男座)

準優勝 本田チーム(本田・吉住・松本・安心院)

第3位 外山チーム(外山・石田・中山・宮下)

卓球選手権大会

とき 2月13日

ところ 町民体育館

《男子シングルスA級の部》

優勝 森田 裕之

準優勝 松下 聡

第3位 西村 正

福山 真路

《女子シングルスA級の部》

優勝 二宮ゆき江

準優勝 水口 和子

第3位 梶谷八重子

船本富美枝

《男子シングルスB級の部》

優勝 日高 上

準優勝 中村 知行

第3位 竹中 登

金丸 大樹

《女子シングルスB級の部》

優勝 久原 裕子

準優勝 浅田 千穂

第3位 一松トキエ

井川 悦子

優勝 黒木 明枝

準優勝 平崎 彩果

第3位 須藤 由貴

川原奈保美

《小学生男子シングルの部》

優勝 松崎 貴博

準優勝 田中 謙

第3位 石田 一気

矢崎 大智

《小学生高学年女子シングルの部》

優勝 吉田 梨紗

準優勝 高藤絵里奈

第3位 刀根 彩香

《小学生低学年女子シングルの部》

優勝 吉田 美桜

準優勝 高藤愛梨沙

第3位 辻 ゆな

《男子ダブルスA級の部》

優勝 西村正・森田裕之

準優勝 松下聡・福山真路

第3位 大田一義・村田勝吉

《女子ダブルスA級の部》

優勝 二宮ゆき江・水口和子

準優勝 久保園志都子・平井順子

第3位 矢野育子・徳永悦子

梶谷八重子・佐藤高子

《男子ダブルスB級の部》

優勝 日高上・江上照明

準優勝 中村知行・金丸大樹

第3位 入江聡一郎・入江憲二郎

奥野四男美・永田忠孝

《女子ダブルスB級の部》

優勝 浅田千穂・一松トキエ

準優勝 久原裕子・竹川正美

第3位 須藤由貴・平崎彩果

梶山早苗・田辺照代



国際交流員

アドリアナ Spice to 岡垣

オーストラリアの先住民である アボリジニーを紹介します

アボリジニーは、オーストラリア大陸に少なくとも4万年以上前から住んでいます。アボリジニーはそれぞれ異なった言語、信仰、習俗からなる複雑な文化の中、優れた力で自然界と調和して生きてきました。

イギリス人が1788年に植民移民を開始したときに、アボリジニーの多くの土地を奪い、彼らの生活に大きな衝撃を与えました。その後も土地の所有権をめぐる論争が繰り返され、それは今も続いています。そのため、オーストラリア政府は先住民と地域の人々との間の相互理解が高まるように、毎年、5月の最後の週に「和解の週」を設けています。

芸術

アボリジニーは、オークルを使って絵を描きます。オークルとは、石や岩から取れる柔らかい粘土で、絵の具の原料のことです。オークルを小枝の先に付けて、ほら穴の壁、木の皮や体などに絵を描きます。描き方の特徴は、小枝の先の丸い形を使って多くの点を描き、絵にすることです。アボリジニーの神話や人間と土地の関係を表現します。現代では、彼らの芸術は世界中で注目を浴びています。



アンニョンハセヨ

チマチョゴリで 안녕하세요 !

2月13日のこどもまつりで、岡垣国際交流協会(OIA)は、岡垣在住の姜さんと宋さん、金さんを中心に、韓国の遊びを教えました。

韓国の遊びは、日本の遊びに似たものが多いようです。日本が古くから中国や朝鮮半島の影響を受けているのでしょう。すごろくに似たユンノリ、お手玉に似ているゴンギノリ、日本から朝鮮半島に伝わったとされるチョンイ・チョップキ(折り紙)など、5つの遊びを紹介しました。道具は少し違いますが、ルールもよく似ているので、子どもたちはすぐに覚えて楽しく遊んでいました。

問い合わせ 岡垣国際交流協会 ☎282-0549へ



外国語教室楽しく学びましょう

期間 4月から9月 ところ 情報プラザ・東部公民館 半年間会費 各クラス8,000円(OIA会員5,000円)

クラス名(講師)	日時	開始日	定員	内容・対象	
Toni's English (トニー)	第2,4月曜日 10:00~11:30	4/11	各25人	中級	日常会話を楽しく勉強しましょう
Adriana's English I (アドリアナ)	第2,3,4火曜日 9:30~11:00	4/5		初級	
Adriana's English II (アドリアナ)	第1,2,3木曜日 13:30~15:00	4/7			
Adriana's Basic Chat/Discussion(アドリアナ)	第1,2,3木曜日 15:30~16:30	4/7			初級から中級に近いクラスです
Adriana's Advanced English Chat Club (アドリアナ)	第2火曜日 15:30~17:00	4/12	各20人	上級	英語で楽しく、自由に話しましょう ※OIA会員対象、1クラブ2,000円
	第4木曜日 19:30~21:00	4/21			

締め切り 3月25日※定員になるまで ※10人未満のクラスは中止の可能性あり。重複申込可

申し込み・問い合わせ 岡垣国際交流協会 ☎282-0549へ